

授業概要

ドイツ語Ⅰ（初級）、ドイツ語Ⅱ（中級）を学んだ上で、さらに先の文法事項を同じ教科書を使って学ぶ。接続詞、zu 不定詞句、比較、三基本形、過去形、完了形、受動、分詞、関係詞、接続法など（最後の方はできれば、ですが…）。接続法まで行けばドイツ語の「初等文法」と呼ばれるものを一通り学んだことになります。授業は初級・中級同様練習問題中心。中級の授業が全然わからなかった、というのであれば決して難しい内容ではないと思います。せっかく中級まで取った方々はぜひおいで下さい。新型コロナの影響で年度によって中級の進度が違ってきますので、始めるところは最初の授業で皆さんと相談して決めます。下のは参考程度に考えて下さい。

授業計画

第 1 回	ガイダンス・第 11 課 ① 接続詞など
第 2 回	第 11 課 ② 非人称の es など
第 3 回	第 11 課 ③ zu 不定詞区など
第 4 回	第 12 課 ① 比較級・最上級の形など
第 5 回	第 12 課 ② 比較級・最上級の付加語用法・述語用法など
第 6 回	第 12 課 ③ 比較級・最上級 副詞の比較・長文など
第 7 回	第 13 課 ① 三基本形など
第 8 回	第 13 課 ② 三基本形・過去形など・小テスト（時期は変更あり。やらないことも）
第 9 回	第 13 課 ③ 過去形・長文など
第 10 回	第 14 課 ① 現在完了形
第 11 回	第 14 課 ② 現在完了形・過去完了形
第 12 回	第 14 課 ③ 完了形の練習と長文など
第 13 回	第 15 課 ① 受動文など
第 14 回	第 15 課 ② 受動文・分詞など
第 15 回	第 15 課 ③ 受動文・分詞を含む練習と長文など
第 16 回	期末テスト（筆記）

到達目標

ドイツ語の初等文法を一通り学び、それに応じた話す・書く・読む力を身につける。もう少し勉強を続ければ 独検 3 級に挑戦できるようになる。

履修上の注意

原則ドイツ語Ⅰ・Ⅱを履修した人が望ましい。15 分過ぎたら遅刻とする（遅刻は 0.5 回出席とする）。全授業回数の 2/3 以上の出席が期末テスト受験の前提となる。

予習・復習

辞書を引いて予習してくるよう。

評価方法

小テスト 10%、期末試験 90%。小テストをやらない場合は期末試験 100%。

テキスト

- ・教科書名：『ヴィッテンベルクでドイツ語』
- ・著者名：柴田・寺尾・西口
- ・出版社名：同学社
- ・出版年（ISBN）：初刷は 2015 年(978-4-8102-0885-6)